

SHIN CLUB 225

(株)辰 東京都渋谷区渋谷3-8-10 JS渋谷ビル5F

tel/03-3486-1570 fax/03-3486-1450



今月のトーク/monthly talk

FUKUMI APARTMENT ドローン撮影：アック東京

大宮

今月ご紹介する「FUKUMI APARTMENT」は、大宮駅東口のすぐ近くで完成した、店舗・賃貸住宅・オーナー邸の8階建てのビルです。正方形の開口部を表現するために、ドローン撮影を試みています。

大宮駅というと、「昔は、東北新幹線の始発駅だった」くらいしか、鉄道知識がなかったのですが、今回調べてみて驚きました。なんと今や14路線が乗り入れる巨大ターミナルになっています。東京と東北地方・信越地方を結ぶ路線の分岐点に位置し、乗り入れ路線数が東京駅に次いで全国2位。東北新幹線、上越新幹線、北陸新幹線（長野新幹線）、秋田新幹線、山形新幹線、京浜東北線、宇都宮線、高崎線、埼京線、川越線、東武野田線（東武アーバンパークライン）、さいたま新都市交通・伊奈線（ニューシャトル）で12路線。さらに湘南新宿ラインと、朝夕に乗り入れる武蔵野線を合わせると計14路線になります。また、1日の乗客数においても全国でも常に十指に入るほどです。（Wikipedia 参照）

そもそも鉄道の駅としては、明治維新の日本の鉄道の第1期線（上野駅～熊谷駅）が開業したものの、浦和駅と上尾駅の間は大宮駅は設置されませんでした。宿場町の役割が低下して、大宮宿の戸数は243戸まで低下していたことが原因でした。そこで危機感を抱いた白井助七（後に大宮町長）ら地元有志が、自分達の土地を提供して、駅の誘致活動を始めたとのことです。そして上野駅から青森駅へ向かう現在の東北本線を建設する際に、高崎駅、前橋駅へ向かう路線のどこから分岐させるかが問題になり、アメリカ人技師のクロフォードが「宇都宮への最短経路となる大宮経由で建設すべし」といった意見を出して最終的には井上勝（長州藩士。イギリス

に留学した長州五傑の一人。「日本鉄道の父」と言われる）の決断によって大宮はその起点として駅が設けられることになったそうです。

さて、大宮は、1894年には白井が提供した土地を基に駅の北に隣接して大宮工場（現：大宮総合車両センター・大宮車両所）が設置され、さらに日本の重要幹線の分岐駅という交通の要衝となって、「鉄道の町」として栄えるようになりました。元々は、氷川神社、市役所、さらに繁華街の南銀がある東口が駅の表口でしたが、西口は新幹線の駅ができてから再開発が進み、そごう、アルシェ、DOM等の商業ビル、ソニックシティ、それらをつなぐペDESTロアンデッキが整備され、すっかり都会の雰囲気となりました。

しかし、ここにきて、遅れていた東口の再開発も動き出したようです。さいたま市は、「大宮駅グランドセントラルステーション化構想」を策定し、「日本経済の中核を担う企業が東京に一極集中しているという現状の中、例えば、国際競争の最前線としての『東京』に対し、東日本ブランドが集まるビジネス拠点を大宮が担うことにより、日本経済全体のリスク分担を図る。また、首都直下地震の発災時には、さいたま新都心と連携して首都圏機能のバックアップ拠点として機能させるとともに、日本海側にも太平洋側にもつながっているという立地特性から、リダンダンシー（冗長性、余剰：予め交通ネットワークやライフライン施設を多重化したり、予備の手段が用意されること）の確保にもつながる」と東日本の顔となる街を目指しています（さいたま市 HP より）2021年度竣工予定（市民会館おおみやが移転）の大門2丁目地区の複合ビルや、2019年度供用開始予定の大宮区役所新庁舎と図書館など、まずは公共施設再編による街並みの整備が進められています。

FUKUMI APARTMENT (フクミアパートメント)



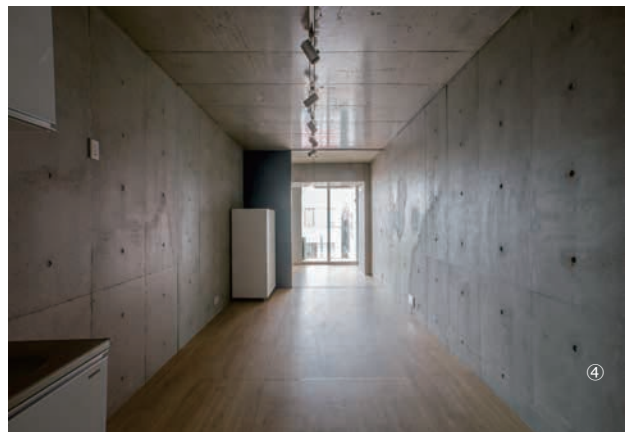
薬箱の引き出しのように立方体が浮かぶ、オーナー邸併用集合住宅

オーナー家は大宮駅前に土地を所有し、50年以上薬局を営まれている。この度、そのすぐ近くに、賃貸集合住宅+オーナー邸、1階にコンビニを入れた、8階建ての建物を建てられることになった。駅東口の交差点から南へ約100m、繁華街の通りと駅への道の交差点に建つ、かなりのボリュームの建物である。

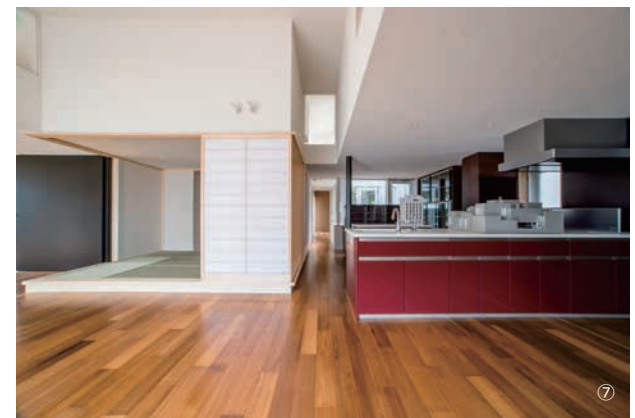
建物は、1階のコンビニを公共のスペースと捉え、大きなキューブ状の賃貸住戸が浮かび、その上に鉄骨造の3世代のオーナー住居が軽く乗っている構成とした。

集合住宅を建てる時には、共用部と専有部の関係を考え、全ての住戸が異なる構成形式を検討することが多いが、この場所は極めて駅に近く、共用部で何かを皆で生み出すコミュニティの創出を考えるよりも、プライベートを極力尊重し、互いにそれほど関わらなくて済む、都市型居住スペースとしての意識を優先させたいと感じた。1階にコンビニが入ることで、利便性は保証され、敷地に当てはめてみると、建物の形は、ほぼ正方形となる。その中に2.9mX2.9mの各住戸のマスが5X5=25戸入り、その1マスも完全に正方形になっていて、まるで薬屋さんの店の古い引き出しを思わせる形である。開けてみないと何が入っているかわからない面白さを想起させ、同じ形状の住戸にいるんな人が暮らしているイメージを建築の形にした。建物のサインは、近くの公共施設「OM TERRACE (オーエムテラス)」のデザインを行った、ネウシトラの刈谷悠三氏に依頼。南側外壁にまず大きく描き、共用廊下など、他にもいろいろなところに設けてもらった。

2階から6階までの集合住宅は、南側外壁に東邦レオの外断熱が施され、リシン吹付けで濃いグレーに塗っている。Rの螺旋階段はオーナー邸まで延びている。オーナー住戸は、家族一人ひとりの希望を満たした部屋の箱が重なり、平屋建が空中に浮かんでいる。7階にお母様の個室や事務所兼応接室、吹き抜けとなっているリビングと付随する和室、ダイニングキッチンなどが置かれ、8階はご主人の書斎や子供2人の個室などが入り、それぞれ好みの色の壁・建具・家具が大小さまざまな空間に彩りを与えている。外からみても美しい夜間の照明や目地無しスパンデルルの外壁に、オーナー夫人もご満足いただいているようである。
(若松均氏 談)



①建物全景②夜景。オーナー邸の照明が映える庭③南側外観。共用部、オーナー邸とも螺旋階段でアクセス④集合住宅の住戸内部は打ち放し⑤共用部のサイン⑥オーナー邸の西側テラスと本棚⑦7階リビングと和室、キッチンを臨む。キッチンは天井が低く、フロア全体は回遊性のあるプランになっている



所在地：さいたま市大宮区
 構造：RC造 規模：地上8階 用途：共同住宅+店舗
 設計・監理：若松均建築設計事務所
 施工担当：寺井 竣工：2018年10月 撮影：①⑤鈴木研一
 ②④⑥⑦若松均建築設計事務所 ③アック東京（ドローン撮影）

ジョワレ恵比寿

レンガ積みの味を活かしたテナントビル

恵比寿のテナントビルの建設計画である。事業主である吉田商事(株)の吉田社長とは、もともと隈研吾建築都市設計事務所においた時代からのお付き合いがあり、隈さんとも親交が深い方である。

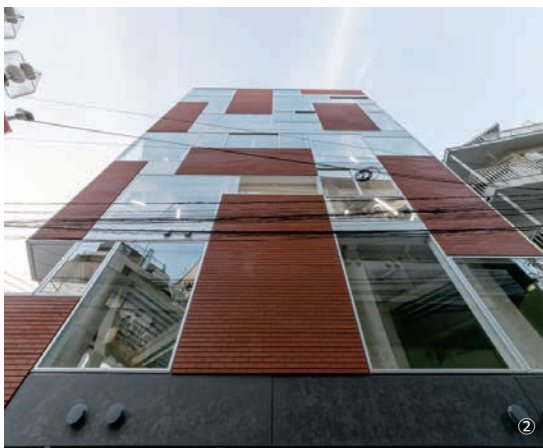
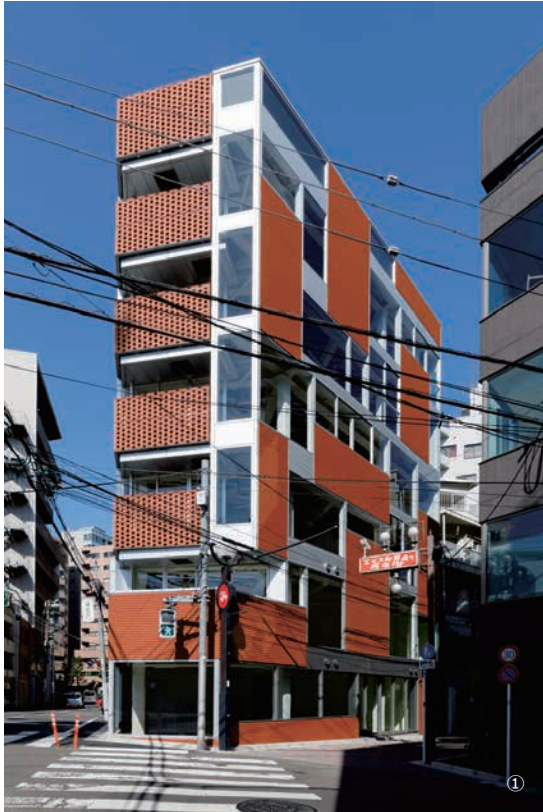
1987年、4人でスタートした隈さんの事務所は、退社する頃はスタッフも30人を超えていたが、当初は私もすべての物件に関わっていた。かなり勉強させてもらったが、自分では画一的なスタイルを持たないようにとやってきたつもりである。そんな中「素材」には興味は持っており、独立後も人工素材であれ、自然素材であれ、適材適所で使うことを常に意識している。

今回のビルにレンガを用いているのは、吉田社長からの提案である。「隈さんもあまり使っていないし、面白いんじゃないか」とテーマを投げかけてくれた。実は、この物件の1年前に、吉田商事(株)の企画する吉祥寺の鉄骨造3階建てのテナントビルの計画があり、そちらで先に中空レンガを使ったビルが完成している。吉祥寺では、中空レンガを積み上げ、600mmピッチのステンレスバーで水平に補強して、それを受けるために四隅で内側に支柱をたてている。そこでは外壁レンガはシングル積みそのまま内側を現しとしているので、外側に撥水剤を塗る等の漏水対策を施してから1年様子を見る必要があった。結果は台風などの時でも漏水も無く良かったので、本来は恵比寿でもこの手法でファサードを構成出来れば良かったのだが、吉祥寺の結果を見る前の着工となったことで漏水に対する安全性が高い「レンガタイル貼りカーニバル工法」を採用することにした。レンガの味を活かしながらも軽いイメージを出したいと考え、レンガの面積よりガラスの面積をやや多くして、レンガが宙に浮いているかのようなファサードを創り出している。

一方、一般の人が見て、手作業が感じられるレンガ積みを見せたいという吉田社長のこだわりもあって、バルコニーの手摺壁は積み上げる形で、しかも通常のように笠木という金属を乗せずに、目透かしで仕上げている。吉田社長も二つの併用工法に満足いただけただようである。

恵比寿は、古くはサッポロビール、駅舎にもレンガが使われ、よく見ると街のそこかしこに、使われている。「積む」という工法は鉄骨造の建物に不向きだが、レンガは富岡製糸場の木骨レンガ造や、隈さんが山口県の海辺のレストランでガラスの壁の外側に穴あきレンガをフィルターのような塀に用いたように、利用方法にはまだまだ可能性を感じる素材なのである。

(細村研一氏 談)



所在地：渋谷区
構造：S造
規模：地下1階、地上7階
用途：店舗・事務所
事業主：吉田商事株式会社
設計・監理：studio h+
元請負：片岡工業(株)
施工担当：竹原
竣工：2018年11月
撮影：アック東京

①全景。恵比寿駅前商店街と5差路交差点に面する三角形の敷地②アトランダムな配置のレンガと1階は溶融亜鉛メッキリン酸仕上げのサッシ、2階からはアルミサッシ、網の入っていない耐熱強化ガラスで構成されているファサード③斜線制限を天空率で解決して、結果的にテラスが広くなり、見晴らしの良い場所となった7階④駅方向に見晴らしの良い開口部を設けた6階⑤夜景。ランダムな配置のLED蛍光灯タイプが建物の形状を引き立たせる⑥レンガで落ち着いた趣のエンタランス⑦1階はGLが少し高く、地下1階は既存杭のなかった南側の一部のみ設けてある

細村 研一 (ほそむら けんいち)

1956年 埼玉県生まれ
1979年 工学院大学建築学科卒業 天野建築設計事務所入社
1987年 隈研吾建築都市設計事務所入社
取締役設計室長として設立から17年在籍
2004年 studio h+ 設立

主な作品
武南中学校、ARTE OTEMACHI、mosta、遊茶「茶館」、pop-eye house



「ゼツト吉祥寺」餃子屋の電蔵が建て替後も再入居。レンガシングル積みで完成当初は水の浸透の心配があったものの、撥水材を塗ったの対応。1年間経過し、台風の時も漏水等の問題は出なかった。

「第8回 ZEN 社一丸大運動会」

2018年10月27日 場所：よみうりランド

今年も、恒例の「ZEN 社一丸大運動会」が開催されました。グループ10社が集まり、競い合う交流の場で、各社実行委員は何カ月も前から準備に余念がありませんでした。今年の辰は幹事会社でもあり、2連覇を狙うという目標もあり、力が入りました。その結果はー？

「決断」 ZEN 実行委員 村田 雄吾 (実行委員長補佐)
 「早朝、雨」……決行か中止かを判断しなければならない状況での悪天候、なかなか状況が変わらない。しびれるほどのもどかしさ。私たちが下した決断は30分遅らせての開催でした。
 「のち、晴」……早朝の天候が嘘のような、運動会日和。私たちの決断は正しかった。皆さんの「明るく、元気で、本気な」姿を見ることができ、喜びが込み上げてきたのを覚えております。ありがとうございました。

「縁の下の力持ち」 ZEN 実行委員 (総務委員) 柿崎 憲人
 今回は、初めて実行委員総務の設営係を担当しました。テントの位置やイスの数等、快適に運動会を過ごせる設営を心がけました。競技で汗を流し、応援で声を出し、大いに盛り上がった運動会ですが、その裏側には、運動会を成功に導く実行委員という存在があるということを経験することができました。2連覇という輝かしい結果に満足しつつ、来年の運動会に期待が膨らみます。

「よい経験に」 ZEN 実行委員 (競技委員) 内藤 百花
 今回私は実行委員の競技担当。ZENとして競技の計画、当日の運営をしました。ZENグループ各社の方々と交流が深められ、とてもいい経験になりました。当日は雨が朝方降っていて、中止になるかととても心配でしたが、何とか最後までやり終えられ、よかったです。連覇出来たので、来年もこの調子で1位を狙いたいです。

「大役を果たして」 辰 応援団長 小林 貴史
 今回の運動会では、2年ぶりに復活した応援合戦で団長を任せてもらいました。結果としては2位だったのですが、2年連続の優勝に少しは貢献できたかなと思います。来年も3連覇出来るよう、少しでもお役に立てたらと思います。

「終わってみれば圧勝」 社内実行委員長 若井 定昭
 今年は2連覇が掛かっていたのでかなりのプレッシャーを感じていました。ですが、いざ始まるのと、綱引きで1位になり、マラソンも1位、その他の競技もバランスよく得点を積み重ね、一番心配だった応援合戦がなんと2位、最後のリレーも1位となり、まさに圧勝で優勝することができました！辰チームの団結力の強さを改めて実感しました。来年もたくさんの方々への参加をお待ちしますので、みんなで3連覇を成し遂げましょう！

今年も大活躍のM銀行のKさん



ZEN グループ全社集合



ユニホー伝統「1日10軒大八車」



優勝の原動力、新人の内藤 障害物競争なんです



来年入社予のIさん、力走



負けられません、「綱引き」は！



We are the champion ~♪



大人も子どもも、「大脱走」



小林団長率いる、力強い辰応援団



2連覇達成、優勝旗を手にする岩本副社長

「芝3丁目計画新築工事」 地鎮祭 2018年11月1日

お施主様の想いが満載の建物になります。



構造：RC造 (壁式ラーメン) 規模：地上5階
 用途：店舗・共同住宅 設計・監理：ナフ・アーキテクトアンドデザイン 完成予定：2019年7月

「シンシア表参道新築工事」 地鎮祭 2018年11月21日

20年前、新築工事を依頼くださったお客様から古いビルの解体・新築工事を新たに頂きました。



構造：RC造 規模：地上3階 用途：店舗・事務所
 設計・監理：スーパービジョン 完成予定：2019年5月

「南麻布プロジェクト新築工事」 地鎮祭 2018年11月21日

南麻布という閑静な場所に共同住宅を建築させていただきます。



構造：RC造 規模：地下2階、地上3階、塔屋1階
 用途：長屋・共同住宅 設計・監理：木下道郎ワークショップ 完成予定：2019年12月

編集後記

・運動会をやる会社、今は少なくなったそうですが、ZENグループでは、年々参加会社が増えております。協力会社の皆様、お客様、来年もご参加の程、よろしくお願いいたします。

(株)辰通信 Vol.225 発行日 2018年12月10日 編集人：松村典子 発行人：森村和男
 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-8-10 TEL:03-3486-1570 FAX:03-3486-1450
 E-mail: daihyo@esna.co.jp URL: http://www.esna.co.jp

「SHIN CLUB」はWEB上でもご覧いただけます。バックナンバーも掲載しています。
<http://www.esna.co.jp/shinclub>
 スマホはこちらから →

